今月の輝きビト☆
The one who shines

歌うことと創ることの歓び

高野　浩子さん（安戸）

高野さん（前列左から３番目）

私の趣味はコーラスと木版画です。今代表をさせていただいている槻の木コーラスは結成して31年。村の公民館活動から出発して、村のイベントや施設訪問、コンクールなどへ広がり、和紙ゆかりの里のグループとして、そのことを歌ったオリジナルソング〝千年の未来〟という曲も持っています。

今年４月、横浜で開催された国際シニア音楽祭に６回目の出場を果たし、最高賞の神奈川県知事賞をいただきました。これにはメンバー全員が驚いています。これは、当初からご指導いただいている杉田裕子先生のお陰と感謝するとともに、受賞を地域の皆さまにご報告ができることを喜んでいます。

この音楽祭は、シニアで構成される合唱団のコンクールで、なかには90歳を超えてご夫婦で参加している団体もあり、私たちはその姿に、元気で歌える楽しさとパワーをいただきました。生活のなかでは家族の健康が一番ですが、同時に余暇も楽しみながら過ごしていけたらと願っています。

手漉き和紙との出会い

村に嫁ぎ、この村が千三百年の歴史を持つ手漉き和紙の産地だと知りました。

コーラス同様、公民館の版画教室で木版画に出会い、それからは和紙の魅力に誘われ木版画制作が始まりました。

かつては公民館活動が盛んな時代だったので、受講者も大勢の方が参加していた記憶があります。数年後数名で「版画を楽しむ会」を発足させ、現在は仲間とともに恵まれたこの地で制作活動を楽しんでいます。

今年で21回目を迎える版画フォーラムも、最初は遠方の方のみでしたが、最近は地域の方の鑑賞者が中心となり、作家さんのファンができ、集う仲間が増えてきたのは嬉しいことで、この２つの趣味は、この村だからこそできたことと喜んでいます。